

EHIME ROUSAI HOSPITAL KANGOBU NEWS NURSE LETTER 10 Month



西日本豪雨 災害派遣～私達ができること～

南4病棟 U・M

当院は10名の看護師が、『愛媛県災害支援ナース』に登録しています。私達は、被災者が健康レベルを維持できるように適切な医療・看護を提供すること、また、被災した看護職の心身の負担を軽減し支えることが任務です。

平成30年6月28日から7月8日にかけて、台風7号及び梅雨前線等の影響による西日本を中心とした地域に集中豪雨災害が発生しました。

愛媛県看護協会は、県災害対策本部からの要請を受け、7月11日から災害派遣を開始しました。私達も勤務調整などスタッフの皆さんの協力を得て、7月22日から8月31日まで、延べ14名が12日間活動しました。活動内容は大洲市全域の避難所、宇和島市吉田町公民館の避難所における健康調査・健康相談、環境調査などで、避難者が作業後に帰ってくる16時から20時まで活動しました。初めての活動で不安もありましたが、被災者の表情を見ながら、話をして体調変化の有無等を確認しました。どの方も心身の疲れがあり血圧が高い状況でした。まだまだ、被災者にとっては大変な日々が続きます。微力ですが、私達、災害支援ナースがお役に立てればと思います。



災害支援ナースとして、尽力してきました！！



★新企画紹介★

HCU



HCU S・H

HCU から病棟へ、安全な療養環境を継続させる取り組み

退室先までの移送を HCU スタッフが付き添い、患者の不安を和らげ、ベッドサイドの環境を病棟看護師と共に考え安全な療養環境を継続させることを目指しています。

また、退室後訪問を行い患者や退室先の看護師から率直なご意見を頂き、より良い看護を提供していきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願いいたします。

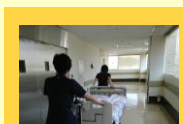


手術室

手術の送迎をストレッチャーからベッドに変更する取り組み

手術室 K・C

周術期は保温が大切★保温されたベッドに移る事で体温低下を予防し、術後の麻酔の覚醒遅延や創感染に対する抵抗力の減弱、心筋の虚血などの様々な合併症を防ぐことに繋がります!!また、患者の移動を最小限にすることで、苦痛を少しでも減らしたい!そして、チューブトラブルのリスクも減らし安全な患者移送に繋がっています!病棟の協力もありベッドでの送迎も増えてきています手術室から病棟への移動時も暖かいベッドで移動することができ、手術室退室時に、患者から「寒い…」と言われることも減ってきています(≥▽≤)今後も病棟看護師と連携を図り、患者の苦痛を最小限にできるよう取り組んでいきたいと考えています。



ベッドのセッティング
ありがとうございます